

2014 阿南市 10大 ニュース

武蔵野大学生100人が 加茂谷で災害復旧・農業ボランティア活動



8月18日～9月19日

武蔵野大学生100人（8班）が加茂谷地域に滞在し、台風11号の災害復旧活動や農業体験ボランティア活動を実践しました。地域を挙げての取組は、若者の定住や中山間地域活性化の可能性を探る意味で大きな反響を呼びました。

県内で初めて本人通知制度スタート



7月1日

事前登録された対象者に対し、戸籍や住民票の写し等を第三者に交付した場合において、その事実を通知する「事前登録型本人通知制度」を県内で初めて導入しました。戸籍や住民票の写し等の不正請求などの防止を推進します。

新ごみ処理施設「エコパーク阿南」が完成



3月31日

橘町小勝に建設を進めてきた新ごみ処理施設「エコパーク阿南」が完成し、4月1日から本格運用（稼働）しました。建設費は93億300万円で、20年間の運転維持管理は阿南ハイトラスト株式会社と118億6,500万円で契約しています。

生誕100年、作家・北條民雄を顕彰



9月21日

下大野町出身の作家・北條民雄（1914.9.22～1937.12.5）の生誕100年を記念し、その功績を顕彰する講演会を開催しました。阿南市文化協会からは、北條民雄含む27人の偉人を紹介した『阿南市の先覚者たち』が刊行されました。

図書貸出冊数が6年連続四国一



8月

四国公共図書館連絡協議会による「四国の公共図書館統計編」が公表され、平成25年度における阿南市民1人あたりの図書貸出冊数は8.48冊で、四国38市の中でもっとも多いことがわかりました。これで6年連続1位となりました。

「野球のまち阿南」応援チアガール 「ABO60」がデビュー



4月19日

阿南の「A」、ベースボールの「B」、おばちゃんの「O」、60歳以上の「60」を組み合わせたチアガール「ABO60」が今年1月に結成され、4月19日の第7回西日本生涯選抜野球大会で華やかにデビューしました。

豪雪、台風、土砂災害、噴火と、今年は各地で自然災害が相次ぎました。阿南市でも台風による未曾有の水害が発生し、家屋や農業用施設等が甚大な被害を受けました。そんな折、市内外を問わず、多くの方から支援の手を差し伸べていただき、多岐にわたる感謝を申し上げます。

去る11月11日、「2014年阿南市10大ニュース」の選考会が行われ、次の10項目を選定しました。市民の皆さまには、どのような年になったでしょうか。

「禍いを転じて福となす」という言葉がありますが、新しく迎える年が輝かしい年であり、心からご祈念を申し上げます。

和歌山県御坊市とパートナーシティ協定



11月17日

紀伊水道を挟んで対岸に位置する和歌山県御坊市と県境・海峽を越えてパートナーになり、互いの共通点や特性を最大限に生かした広域的かつ戦略的な観光、地域振興、防災対策に取り組むパートナーシティ協定を締結しました。

台風11号・12号襲来で甚大な被害発生



8月

8月1日～3日にかけて襲来した台風12号で、床上浸水90棟68世帯、床下浸水496棟307世帯が、8月8日～11日の台風11号では、半壊が3棟2世帯、床上浸水162棟96世帯、床下浸水317棟121世帯の甚大な被害が発生しました。

市制施行55周年記念企画 市民劇団ふるさと創作ミュージカル 「新開桜」を上演



5月5日、6日

牛岐城趾に400年以上咲き続ける「新開桜」をテーマにした市民劇団ふるさと創作ミュージカル「新開桜」が夢ホールで上演されました。公募による38人の団員を含む総勢130人が力を合わせ、感動の舞台を作り上げました。

津波防災マップ「南海トラフ巨大地震・津波にそなえて」が完成 市内全戸に配布



3月

南海トラフ巨大地震に備え、最新の被害想定などを盛り込んだ津波防災マップを作成し、全戸に配布しました。マップは、津波災害発生メカニズム等を紹介した冊子と、津波被害が想定される10地区の地図（5枚）で編集しました。